



各 位

平成 30 年 6 月 6 日

会社名 オカダアイオン株式会社  
代表社名 代表取締役社長 荻田 俊幸  
(コード 6294 東証第 1 部)  
問合せ先 取締役管理本部長 前西 信男  
TEL (06) 6576-1281 (代表)

### 招集通知記載事項の一部修正について

当社「第 59 回定時株主総会招集ご通知」の一部に修正すべき点がございましたので、本ウェブサイトにおいて、下記のとおり修正いたします。

記

<修正箇所> (修正箇所は下線部分のとおりであります)

招集ご通知 3 頁「当連結会計年度の事業の状況」

#### 【修正前】

##### [国内事業]

国内事業は、売上高 11,114 百万円（前年同期比 0.9%増）となりました。機種別には、主力の圧砕機は再開発や建替え需要が堅調な中、業界シェアも順調に伸ばし売上高は 5,875 百万円（前年同期比 7.2%増）、油圧ブレーカは戦略商品投入やレンタル業者の需要回復により、売上高は 943 百万円（前年同期比 33.5%増）となりました。一方、環境関連機器は排ガス規制の影響もあり、売上高は 1,147 百万円（前年同期比 35.6%減）と減収になりました。また、アフタービジネスについては指定サービス工場の体制整備が寄与し原材料売上高が 1,187 百万円（前年同期比 4.2%増）、修理売上高が 803 百万円（前年同期比 7.0%増）となりました。利益面については、新規株式取得費用およびのれん償却費等の影響もありセグメント利益は 860 百万円（前年同期比 1.4%減）となりました。

##### [海外事業]

海外事業は、売上高が 2,752 百万円（前年同期比 31.3%増）となりました。堅調な海外需要を背景にレンタル需要が回復した北米が順調に推移したことに加えて、代理店拡充を図ってきたアジア、オランダ駐在員事務所を開設した欧州共に各地域で売上が増加いたしました。セグメント利益も 391 百万円（前年同期比 66.4%増）と大幅な増益となりました。

#### [南星事業]

当連結会計年度から連結対象とした南星事業は売上高 1,532 百万円（6ヶ月累計）となりました。販売内容の主なものは林業機械、スクラップ用機械、車載・船用クレーン、ケーブルクレーン、各種ウインチ等となっております。利益については株式取得前に加入していた保険費用 55 百万円を計上した事もありセグメント利益は△11 百万円となりました。

#### 【修正後】

#### [国内事業]

国内事業は、売上高 11,114 百万円（前年同期比 0.9%増）となりました。機種別には、主力の圧砕機は再開発や建替え需要が堅調な中、業界シェアも順調に伸ばし売上高は 5,875 百万円（前年同期比 7.2%増）、油圧ブレーカは戦略商品投入やレンタル業者の需要回復により、売上高は 943 百万円（前年同期比 33.5%増）となりました。一方、環境関連機器は排ガス規制の影響もあり、売上高は 1,147 百万円（前年同期比 35.6%減）と減収になりました。また、アフタービジネスについては指定サービス工場の体制整備が寄与し原材料売上高が 1,187 百万円（前年同期比 4.2%増）、修理売上高が 803 百万円（前年同期比 7.0%増）となりました。

利益面については、円安による輸入原価上昇等の影響もありセグメント利益は 860 百万円（前年同期比 1.4%減）となりました。

#### [海外事業]

海外事業は、売上高が 2,752 百万円（前年同期比 31.3%増）となりました。堅調な海外需要を背景にレンタル需要が回復した北米が順調に推移したことに加えて、代理店拡充を図ってきたアジア、オランダ駐在員事務所を開設した欧州共に各地域で売上が増加いたしました。セグメント利益も 391 百万円（前年同期比 66.4%増）と大幅な増益となりました。

#### [南星事業]

当連結会計年度から連結対象とした南星事業は売上高 1,532 百万円（6ヶ月累計）となりました。販売内容の主なものは林業機械、スクラップ用機械、車載・船用クレーン、ケーブルクレーン、各種ウインチ等となっております。利益については株式取得前に加入していた保険費用 55 百万円を計上した事もありセグメント利益は△11 百万円となりました。

なお、各事業セグメントに該当しない項目として新規株式取得費用およびのれん償却費等が 45 百万円発生しております。

以 上